

# 皇徳寺中央公園グラウンドの抜本的整備を！

住民の方々から「グラウンドに石ころが多く、段差もあり危険だ」との要望を受け、市公園緑化課に現地調査を要請。6月14日、第2回定例会市議会の個人質疑の中で、建設局長と以下の質疑を交わしましたのでご報告します。

## 【たてやま議員】

安心安全のまちづくりに関して皇徳寺中央公園のグラウンド整備について質問します。

- 1点目、同公園が供用開始された時期とグラウンドの利用状況
- 2点目、同グラウンドでは多くの石ころや段差が見られますが、その要因及び利用者からの要望、またこのような問題は、他の公園で見られるのかお示してください。
- 3点目、国が示すグラウンド整備の基準及び整備不良が原因による事故に対する責任の所在について、以上、それぞれ答弁願います。

## 【福留建設局長】

皇徳寺中央公園は平成元年9月1日に供用開始しており、令和2年度は、ソフトボールやサッカー等で494件、7919人のグラウンド使用があったところでございます。お触れの要因は、風雨による浸食等により路盤材が露出してきたことなどが原因と考えております。利用者からも改善の要望が寄せられており他の公園と比較しても整備の必要性は高いものと考えております。一般社団法人日本公園緑地協会の「都市公園技術標準解説書」によると、土系のクレイ舗装のグラウンドは、主に、舗装厚10cmの真砂土による整備をすることとされております。一般的に事故原因が、管理の瑕疵によるものと認められた場合は、本市に責任があると考えております。

## 【たてやま議員】

このパネルをご覧ください。皇徳寺中央公園のグラウンドからは、このような角張った石ころや貝殻が出てきます。また段差もあり、とても危険です。国の整備基準も満たしていない現状であり、万が一、グラウンド内で事故が発生した場合、市当局の瑕疵責任が問われる場合も考えられます。安全第一を最優先に、グラウンドの抜本的な整備に着手すべきと考えますが、答弁願います。

## 【福留建設局長】

当グラウンドは、路盤材の露出や段差により、利用に支障をきたしていることから、整備について検討を行っているところでございます。

## 【たてやま議員】

整備に向けた前向きな答弁と受けとめ、今後の取組みを注視してまいります。



## たてやま清隆 市議会議員

日本共産党市議団ニュース

NO342

2021年7月発行

鹿児島市山下町11-1 西別館3F

Tel.216-1440 FAX225-5607



何でもお気軽に相談を  
☎090-9404-6693

